

元気で明るい熊本づくり

「県民中心」の県政を進めます

このたび、県民の皆様方のご信任をいただき、引き続き県政を担当することになりました。皆様の期待の大きさ、そして責任の重大さをあらためて感じております。

私は、2期目も「県民中心」の視点で、「県民の皆様、そして未来社会からの預かりものの県政に付加価値をつけていくこと」を大事な使命として、県民の皆様とのパートナーシップを大切にしたいと県政を進めて参ります。



熊本県知事 潮谷 義子

九州新幹線を生かし、九州の中心となりうるような県づくり

まだまだ厳しい地域経済、そして財政状況ではありますが、誰もが暮らしやすく心優しい社会を創るという「ユニバーサルデザイン」の考え方を基本理念として、「元気で明るい熊本づくり」を、前向きに攻めの姿勢で進めたいと考えております。

特に、真の地方の自立が実現できるか、正念場を迎えています。国が進める「三位一体の改革」に対し、地方の実態像をもとにし、かり意見を述べながら、県自らも、未来志向の行財政システムを確立していかなければなりません。



考えます。

国や市町村、県民の皆様との役割分担、そして将来の県のあり方について共に議論を深めながら、思い切った行財政改革とともに、熊本を持つ力を生かした魅力と活力ある熊本づくりに向けて果敢に取り組んで参ります。

未来に向けた行財政システムづくり

このため、まず、新しい施策・事業等に係る予算の六月議会への提案に併せて、できる限りの今後の財政見通しを示します。それとともに、行財政構造改革のスケジュールを早急に立て、「県民中心」、「選択と集中」の視点から一層の業務見直しを進めます。また、課題に的確に対応するための組織については、四月から、行財政改革を総括する「行政経営課」、次世代育成支援対策推進法に基



づく県行動計画の策定等を行う「少子化対策推進課」や児童虐待防止心とり親家庭福祉対策等を行う「子ども家庭福祉課」、危機管理体制の強化として「危機管理室」を新たにスタートさせ、熊本駅周辺整備等を進める「熊本都市圏振興室」やバイオマスの利活用を推進する体制の強化等を行いました。さらに、「総合調整局」と「企画振興部」を「総合政策局」と「地域振興部」に再編したところです。

産業の元気づくりを第一に展開



八代本町アーケード

政策としては、第一に「あらゆる産業の元気づくり」を進めます。安全安心をブランドにした農林水産物の「すばらしさ、おいしさ」の発信・販路拡大、中小企業対策の充実、さまざまな拡がりを持った観光戦略の展開、若年層への就業支援を総合的に行う拠点づくりなどを積極的に行います。

併せて、関係市町村等と一緒になった新幹線駅周辺や交通ネットワークの整備とともに、暮らしの原点である「安全安心なまちづくり」、「豊かな人間性や実力」を伸ばす教育・文化の充実、「支えあい、誰もが出番」の福祉社会の実現、「未来に続く県土づくり」、「美しい熊本「環境立県」への取り組み、川辺川ダムへの対応をしっかりと進めて参ります。

現場にどんどん出掛け、皆様と話をし、互いに知恵と力を持ち寄りながら、「美しい大地、たくましい生命、力強い産業の息吹き」あふれる熊本を実現したいと思っておりますので、どうぞ県民の皆様のご理解とご協力、そして県政への一層のご参加をお願いいたします。

